

女性活躍推進事業【松江市】

個別事業費	1,087 千円
交付金額	474 千円

地域の実情と課題

- 山陰地方で人口最大の中核都市であり、統括的に事業を展開する支店や本社が多い。
- 市内企業の9割以上を中小・小規模企業が占め、「生産性の向上」「人材の育成・確保」は全産業に共通する課題となっている。
- 女性の有業率は高いが、管理的職業従事者に占める女性の割合は低い。

事業の特徴

- 人材確保や女性がさらに活躍するために必要な視点、意識改革及び求められる取り組みについて、経営者視点の講演会を開催した。
- 「だれもが自身の能力や希望に応じて働き、活躍することができるまちへ」をテーマに、女性の登用に関する現状と課題、その解決のための取組みやダイバーシティ経営がもたらす組織の成長などについて、具体例を交えながらパネルディスカッションを開催した。

事業の効果

- 参加者アンケートでは、「興味深い内容だった」と感じた人の割合は72.9%、「組織におけるダイバーシティ推進の重要性について理解できた」と感じた人の割合は78.0%で、概ね高い評価を得ることができた。
- ダイバーシティを推進し、多様な価値観が組み合わさることでイノベーションが生まれ、組織の成長にもつながるという講師の言葉に深い共感を覚えた参加者が多かった。

目的・目標

- 【目的】誰もがライフイベントとキャリア形成を両立し、活躍できる環境の整備を図る
- 【数値目標①】講演会、パネルディスカッション参加者数
〔目標達成度〕72.0% 〔実績〕180人 〔目標〕210人
- 【数値目標③】まつえワーク・ライフ・バランス推進ネットワーク会員事業所数
〔目標達成度〕25.0% 〔実績〕176事業所（R5.7比 3事業所増）（R6.3.29現在） 〔目標〕184事業所（R5.7比 12事業所増）

連携団体

- まつえワーク・ライフ・バランス推進ネットワーク(会員数176事業所:松江地区商工会・商工会議所連携協議会、連合島根東部地域協議会、国立大学法人島根大学、松江市をはじめ、市内に事業所がある企業・団体等で構成されたネットワーク)
- 周辺地域商工会議所(出雲、平田、安来)
- 島根県

今後の課題

- アンケートでは、「自身が所属する組織における取組みの進め方がイメージできるようになった」と答えた人の割合は56.4%にとどまった。
- パネルディスカッションで、パネリスト同士の討議及び聴講者からの質疑応答の時間を十分にとることができなかったため、聴講者の中には、自身が目指すべき状態に至るまでのロードマップを描きづらいつ感じたと推察する。
- 今後は、それぞれの組織で取組みを進めるにあたっての課題を把握し、その課題解決に向けた取組みを進めていく必要がある。

事業の概要

- 日時
令和6年2月16日(金) 14:00～16:30
- 内容
女性登用をはじめ、多様な人材の活用が、企業をはじめとする組織の「生産性向上」、「人手不足の解消」、「持続的成長」につながることを、松江市全体で共有し、取り組みを進めていくため、企業経営層・管理職・人事担当者向けの講演会及びパネルディスカッションを開催。

- 基調講演
【講師】福島敦子氏(ジャーナリスト)
【演題】ダイバーシティと企業価値向上
【内容】
 - ・企業価値の向上、企業の成長のために、なぜダイバーシティが必要か
 - ・ダイバーシティを重視するための組織文化やリーダーのあり方
 - ・働き方改革
- パネルディスカッション
【コーディネーター】
河野美江氏(島根大学副学長)
【パネリスト】
越野由美子氏(キャリアコンサルタント)
野津昭子氏(モルツウェル(株)専務取締役)
福島敦子氏(講演講師)
上定昭仁 松江市長
【内容】
「だれもが自身の能力と希望に応じて働き活躍することができるまちへ」をテーマに、女性の登用に関する現状と課題、その解決のための取り組みやダイバーシティ経営がもたらす組織の成長などについて、意見を交わした。



基調講演：福島敦子氏



パネルディスカッションの様子